

2018 年度日本建築学会大会（東北）
防火部門
パネルディスカッション資料

糸魚川市大規模火災と これからの都市防火を考える

2018 年 9 月

日本建築学会
防火委員会

14.84

(049)

1.2018

パネルディスカッション資料 目次

1. 主旨説明

- 糸魚川市大規模火災とこれからの都市防火を考える 1
岩見達也（建築研究所）

2. 主題解説

- (1) 糸魚川市大規模火災時の延焼拡大要因に関する社会的考察 3
竹谷修一（国土技術政策総合研究所）
- (2) 地震火災時広域避難におけるリスク情報の伝達過程に関する論点と課題 11
糸井川栄一（筑波大学），廣井悠（東京大学）
- (3) 同時多発火災に対する消防活動のあり方とその限界 19
関澤愛（東京理科大学）
- (4) 将来を見据えた都市防火対策のあり方を考える論点（当日配布）
加藤孝明（東京大学）

3. 寄稿論文

- (1) 都市大火・地震火災の研究経験から見た今後の防災対策 25
塚越功（慶応義塾大学名誉教授）
- (2) 自主防災組織と町内会の関係に関する一考察 29
梶秀樹（一般社団法人地域防災支援協会理事，筑波大学名誉教授）
- (3) 市街地火災の問題を考えるための視点について 32
田中哮義（京都大学名誉教授）
- (4) 平時の大火と震災時の都市火災 34
中林一樹（首都大学東京名誉教授）